

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立小路小学校

令和8年4月

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

本校では、子どもたち一人一人が大切にされる取り組みを継続的に行うことで、学校が好きで、安全で安心できる学びの場となることを目指している。令和7年度小学校学力経年調査における「学校に行くのが楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合は85.7%だった。大きないじめ事案や不登校問題も、これまでの取り組みにより大きな課題となっていない。今後も子どもたちの学校に対しての満足度を上げていき、意欲的に活動させることができるよう継続的に取り組んでいく。

また、人権教育の取り組みに力を入れてきた。ちがいを認め合い、相手を尊重できるように、相手意識を高めて関わっていけるよう取り組みを充実していく必要がある。特に大阪市の指針に沿って、多文化共生教育の実践を積み重ねてきた。各学級・学年、国際クラブ（民族学級・中国学級）・国際理解の学習等において取り組みを行い、多様な価値観や文化を認め合える子どもを育成してきた。令和7年度小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は81%だった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

国語・算数を中心に学力向上に取り組み、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を行ってきた。令和7年度大阪市学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合は約80%であった。国語・算数の平均正答率の対全国比（3年生時）では、6年生以外は1ポイント（全国平均）を下回っている。この数値を経年的に比較し、向上を図っていく。

運動については肯定的に「好き」と答える児童の割合が全学年平均して90%となっている。しかし、学年が上がるにつれて低下している傾向がある。

【学びを支える教育環境の充実】

教職員がゆとりをもって子どもたちに関われるように、働き方改革を推進してきた。効率的に業務を行うためにICT機器を活用し、授業改善や会議の精選等を行ってきた。令和7年度小学校経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合は49%となっており、よりいっそう端末活用を充実させて、業務の効率化を進めていく。

行事や会議の精選、校務分掌割り振りの工夫を行い、一人一人の業務の負担を減らすように取り組んできた。令和7年度教員の1か月あたりの平均時間外勤務は、約28時間である。個々の働き方によるが、個々で数値の差にまだまだ開きがある。教職員一人一人の仕事量は多く、負担感はまだまだ残っているが、実態を把握し課題を見つけて改善に向けて取り組んでいく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上とする。
- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上とする。

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

(様式2)

大阪市立小路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p> <p>○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づきたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を90%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と学ぶ取組を各学期1回行うことを通じて、集団作りを深める。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>月一回行っている「いじめ不登校対策委員会」で「大阪市いじめ対策基本方針」に基づきたいじめの対応を教員間で共有する。</p>	
<p>指標</p> <p>いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針」に基づきたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>児童が学校に行くのが楽しいと思えるような学校を目指す。そのために、児童にとって居心地が良い学校と感じられるようにポジティブ行動支援を教職員全体で取り組む。月目標を達成できるようにクラスや学年、委員会で学校生活が楽しくなるような取り組みを実施する。</p>	
<p>指標</p>	

<p>小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>月1回以上、国際クラブでの学習や行事での取り組みを教室内で報告する機会を設ける。いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを知り、困ったことや問題がある場合は話合うなどして、つながりを深めることができるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立小路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上とする。</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p>	

朝の会や帰りの会でスピーチをしたり、学習の中で話し合う活動を積極的に取り入れた りすることで、自分の考えや思いを整理して伝える力の向上に努める。ハンドサインを 全学年で統一し、話し合い活動を活発に行えるようにする。	
指標 校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていますか」に対して、3年生以上の肯定的に回答する 児童の割合を85%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 朝の学習やスキルアップテストにおいて、基礎的な学力の向上を図る。	
指標 国語科では、朝学で全学年読解ドリルに週一回以上取り組む。算数科では、週1回のス キルアップテストに7枚以上合格した児童の割合を70%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 運動・環境委員会が中心となって、休み時間の遊びを企画・運営する。	
指標 校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きです か」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

(様式2)

大阪市立小路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○小学校経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程 度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。 ○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況

<p>取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>teams や classroom を用いて、宿題や連絡帳の確認を行い、児童の学習者用端末の活用を高めていく。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末を週を3回以上使用した。」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>健康障害防止機能確認日を設ける。</p>	
<p>指標</p> <p>月末に1回、健康障害防止機能確認日を設け、一人一人が自己の働き方を確認する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>改善点</p>	